

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 変更実施日 2017 年 8 月 28 日（月）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
5656 2	脂肪酸分画 (4成分)	血漿 0.5	PH5 (G) ↓ A00 (X)	凍結 (35日)	4~6	429 ※4	Gas- Chromatograph 法	ジホモ-γ-リノレン酸 22.6 ~ 72.5	★
	アラキドン酸 135.7 ~ 335.3								
	3F095-0000 -022-202							エイコサペンタエン酸 10.2 ~ 142.3	
	3F095-0000 -023-202	血清 0.5	S09 ↓ A00 (X)					ドコサヘキサエン酸 54.8 ~ 240.3 (μg/mL)	
								EPA/AA比 0.05 ~ 0.61	&や
								DHA/AA比 0.27 ~ 1.07 (EPA+DHA)/AA比 0.32 ~ 1.66	

※4：生化学的検査（Ⅱ）判断料

★：DHLA（ジホモ-γ-リノレン酸）・AA（アラキドン酸）・EPA（エイコサペンタエン酸）・DHA（ドコサヘキサエン酸）

●今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただく予定です。

項目コード	項目名	受託中止日
6293 0	血中脂肪酸分画	2017年12月29日（金） ご依頼分をもって受託中止

● 脂肪酸分画（4 成分）

新たに DHA/AA 比、(EPA+DHA) /AA 比をご報告いたします。

食生活の変遷を背景に、血中必須脂肪酸の構成割合と動脈硬化性疾患との関係が注目されています。一般的に、アラキドン酸（AA）は動脈硬化を促進、エイコサペンタエン酸（EPA）やドコサヘキサエン酸（DHA）は抑制するといわれています。

本項目では、EPA/AA比に加え、新たにDHA/AA比、(EPA+DHA) /AA比をご報告いたします。これらの値が低い場合、動脈硬化性疾患の発症リスクが高くなる可能性があることから、心筋梗塞などの冠動脈疾患や脳卒中のリスク等、病態把握や経時的変化の指標として期待されています。

▼検査要項

検査項目名	脂肪酸分画（4 成分）	
項目コード No.	5656 2	
検体量	血漿 0.5 mL	血清 0.5 mL
容 器	PH5（ヘパリン入り）→A00（ポリスピッツ）	S09 →A00（ポリスピッツ）
保 存 方 法	凍結保存してください。	
保存安定性	凍結保存で35日間	
所 要 日 数	4～6日	
検 査 方 法	Gas-Chromatograph法	
基準値 (単位)	ジホモ-γ-リノレン酸 22.6 ～ 72.5 (μg/mL) アラキドン酸 135.7 ～ 335.3 (μg/mL) エイコサペンタエン酸 10.2 ～ 142.3 (μg/mL) ドコサヘキサエン酸 54.8 ～ 240.3 (μg/mL) EPA/AA比 0.05 ～ 0.61 <u>DHA/AA比 0.27 ～ 1.07 (今回新たに加わります。)</u> <u>(EPA+DHA) /AA比 0.32 ～ 1.66 (今回新たに加わります。)</u>	
実施料	429点（「D010」特殊分析の「O7」）	
判断料	144点（生化学的検査（Ⅱ））	
備 考	DHLA（ジホモ-γ-リノレン酸）・AA（アラキドン酸） EPA（エイコサペンタエン酸）・DHA（ドコサヘキサエン酸）	

&ヤ

●参考文献

小沢 昭夫, 他：分析化学 31：87～91,1982.(検査方法参考文献)

Nozue T,et al: Journal of Cardiovascular Pharmacology and Therapeutics 18(4)：320～326, 2013
(臨床的意義参考文献)